

拝啓

朝晩の冷え込みがだいぶ厳しくなってきましたが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、この度は、松岩小学校に對しまして温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。お礼の返事が遅くなりましたが大変申し訳ありません。

さて、本校も三月十一日の東日本大震災により甚大な被害を受け、入学予定の児童一名、病休中で在宅中の教員一名がいまだ行方不明の状況です。また、震災孤児（保護者が死亡）・震災遺児（保護者のどちらかが死亡あるいは行方不明）の児童が十一名、仮設住宅や学区外から通学している児童がそれぞれ五十名弱おります。しかしながら、四百三十三名の子どもたちは元気に学習に運動に励んでおります。

本校は三月十一日の震災以来、一階・五教室が避難所となり、六月四日からは体育館の修理完了に伴い、体育館を避難所として開放してまいりました。その後、避難された方々が仮設住宅等に移られ、九月十四日をもちまして、避難所としての役目を終えることができました。

現在、十月十六日に行われた運動会に続き、今月十三日の学習発表会に向けて、職員と子どもたちは力を合わせて頑張っております。

同封させていただきました写真は、八月十一日に「けせんぬま復活祭」に関連した行事として、本校を会場に行われた「手作りイベント」ライトキヤンドルメッセージの様子を写したものです。会場には三百人を超す方々が集まり、イベントは大成功でした。このイベントは、PTA本部役員の方々が中心となって企画・運営されたもので、当日は赤穂市のボランティアの方々にもご協力をいただきました。

内容は「アリガトウ！」の人文字を作り、持参した懐中電灯で空を照らし、屋上から撮影するというものでした。この人文字を全国に発信することにより、これまで支援してくださった方々への感謝の気持ちを表したいという企画でした。あわせて、様々な行事が中止となり寂しい思いをしている子どもたちの笑顔を取り戻したいという思いもあつたようです。どうぞご覧いただければ幸いです。

今後とも、皆様からいただいたご支援を励みに、子どもたちが元気に学校生活を送れるよう職員一同努力していくつもりです。

末筆になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十三年十一月吉日

気仙沼市立松岩小学校長 佐藤 均